

『新とよみ生協病院での検査室』

検査室室長 赤嶺尚子

皆さんの検査技師のイメージはどのようなものでしょう？機械とパソコンに囲まれた狭い空間で、引きこもるように仕事をしている、そんな印象をお持ちではありませんか？

現在の検査技師を巡る情勢は、チーム医療から、検体採取、そして医師の働き方改革に伴う検査関連業務の委譲と、検査室外での業務拡大が進んでいます。採血はもちろん、内視鏡検査や術中検査、認知機能検査など、多岐にわたる分野に参加できるようになりました。その速度はまだまだ緩やかではありますが、今後も拡大してゆくことでしょう。全国的には、新たな業務だけでなく、現在の業務に関しても、例えば病棟検査技師の配置や訪問診療に同行するなど、形態を変化させることでの業務拡大が行われています。新病院での検査室にどのような変化があるのか今はまだ想像することもできませんが、与えられた環境の中で変化を受け入れ、改善し、継続する。そして患者様と病院に貢献してゆく、しなやかで逞しい検査室であることを目指します。



5月25日現在の建設現場



6階の工事をしています



図面を確認しながらの現場視察

今後の予定

- 6階コンクリート流し込み 6/6日と8日
- 7階コンクリート流し込み 6/27日と29日
- 8階コンクリート流し込み 7/10 予定です



1～2階の電気、空調工事も始まっています

新とよみ生協病院の開院を楽しみにしてください。



1階エントランス前になります



私たちは、医療現場で働く仲間を募集しています。



詳しくはとよみ生協病院ホームページへ
<https://www.tyomiseikyou.okinawa/>